

北部地区まちづくり推進について

1 北部地区まちづくり推進の取組について

(1) 概要

都市計画マスターplanに掲げた北部地域の将来像「人々が共生し住み働き続けられる便利なまち」の実現を目指し、リノベーション型まちづくりによる地域特性を活かした賑わいの創出や老朽建築物の不燃化促進による防災性の高い市街地形成等に取り組んでいる。

(2) リノベーション型まちづくりの取組状況について

①空き家・空き店舗の活用実績

物件所有者と活用希望者の意向を十分に伺ったうえで、活用条件等の調整を行い、これまでに花屋やカフェなど5件のマッチングが成立した。

②ワークショップの実施

地域の魅力発掘と地域資源を活かしたまちづくりのアイディア創出を目的としたまち歩きワークショップを実施した。



③地域の魅力や活動状況の情報発信

北部地域の魅力を地域外にも広めるため、SNS (Instagram、note) を積極的に活用した情報発信を実施した。

主な発信内容

| | | |
|---------------|---------------|--|
| | | |
| マッチングをした花と本の店 | 子育て世代が集う酒屋の紹介 | |

2 まちづくりの方向性について

(1) 状況

- ・ リノベーション型まちづくり等の既存事業の取組により、空き家や空き店舗を活用した地域活性化への関心が高まり、地域資源を活かしたまちづくりへの期待が広がっている。
- ・ 近年、若年層の人口やマンション建設の増加、老朽建築物の更新が進展するなど、地域構造に変化が見られる。
- ・ 大河ドラマを契機に来街者が増加している。
- ・ 将来的には、清川二丁目プロジェクトの進行により、地域交流機能や商業施設が整備され、生活環境の向上や地域活性化が期待されている。

(2) まちづくりの方向性

既存事業の実施により、まちづくりは着実に進展しているが、北部地区は（1）のとおり転換期を迎えており、そのため、以下のとおり都市計画マスタープランに基づくまちづくりの方向性を明確にし、地域との共有を図りつつ、既存事業の継続及び充実により地域全体の魅力を高めていく。

① 既存ストックを活用した地域の魅力向上

空き家や空き店舗など既存ストックの活用を通じ、地域産業や商店街の活性化、生活利便機能の誘致などを進め、地域の魅力と利便性の向上を図る。

② 住み続けたくなる住環境づくり

子育て世帯をはじめとする多様な世代が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けられる住環境の形成を目指す。

公共空間等の地域資源を活かした賑わいの創出や地域コミュニティの活性化を図る。

③ 安全な市街地形成

老朽化した建物の不燃化を推進することで、安全な市街地の形成を図る。

(3) 今後の展開について

当面は、老朽建物の建替えにより不燃化を促進し、安全性を高めるとともに、簡易宿泊所の転換助成を継続して実施する。併せて、空き家・空き店舗の活用強化に向けた支援手法の検討や、公共空間等の活用を含むエリアリノベーションの取組を進め、地区全体の魅力を高める。

将来的には、清川二丁目プロジェクトで整備される地域交流機能や商業施設と周辺の生活利便機能の連携を図り、地区全体へ賑わいを広げ、子育て世帯をはじめとする多様な世代が安心して住み続けられるまちの実現を目指す。